

第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会
(第26期・第2回) 議事要旨

1. 日 時：令和6年7月25日（木）17：00～18：10
2. 会 場：オンライン
3. 出席者：伊藤 由佳理、大場 みち子、佐々木 葉、玉田 薫、中村 卓司、西原 寛、堀 利栄、川口 慎介、斎藤 毅、須山 章子、千住 智信、中野 裕美、渡辺 美代子
欠席：大島 まり、関根 千津、野尻 美保子
事務局：藤田 崇志 （＊50音順、敬称略）
4. 議題
 1. 学術フォーラムの提案について
 2. 第6次男女共同参画基本計画について
 3. その他

議事内容

玉田薫委員長より出席者の確認があり、定足数（構成委員数の1/2以上）を満たすことが確認された。

1. 学術フォーラムの提案について

伊藤委員より、当ジェンダー・ダイバーシティ分科会の学術フォーラムとIPMU/KAVLIで開催する講演会を連続2日で開催し、海外（アジア学術会議）からの参加者を招聘するとともにフォーラムと同日に分科会を開催する提案があった。これを受けて議論をした結果、アジアにおける女性限定公募に関連するテーマで、海外からの招聘講演者を1/2-1/3程度として旅費確保に留意しつつ開催することとした。開催時期は年度内の3月までとし、今後委員間のメールで提案内容を固めることとした。その他、参加委員による意見交換では、学術フォーラムとして開催する場合、国際委員会や課題別委員会との連携を考慮すべきとの意見や、国際会議となるので使用する用語には十分注意すべきとの意見等があった。

2. 第6次男女共同参画基本計画について

玉田委員長より、第6次男女共同参画基本計画の立案に間に合う形で日本学術会議から意思の表出を行う目的で、小委員会を立ち上げてシンポジウムを開催し、記録等を発出する準備が進められていることが報告された。これに関連した参加による意見交換では、科学技術・イノベーション基本計画における記述にも留意すべき等の意見があった。なお、具体的なアクションについては改めて玉田委員長からメールで周知を行うこととなった。

3. その他

特になし。

< 配布資料 > なし